

埼玉県人々のつながりに関する基礎調査

調査結果報告書

令和5年3月

埼玉県

I 調査の概要

1 調査の目的

埼玉県における孤独・孤立の実態を把握し、関連行政諸施策の基礎資料を得ることを目的として実施。

2 調査の実施概要

(1)調査の名称

埼玉県人々のつながりに関する基礎調査

(2)調査の対象

埼玉県に居住する16歳以上の個人 1,500人（無作為抽出による）

(3)調査の方法

オンライン又は郵送により回答

(4)調査期間

令和5年1月17日（火）～令和5年2月10日（金）

3 調査事項

(1) 孤独に関する事項

孤独感（UCLA孤独感尺度・直接質問）、継続期間、これまでに経験したライフイベント（家族との離別・死別、人間関係の重大なトラブル等）、社会や他人とのかわり方の満足度

(2) 孤立に関する事項

外出頻度、外出目的、行動範囲、社会的交流（家族・友人とのコミュニケーション手段や頻度）、社会参加（活動への参加状況）、各種支援の状況、他者への手助けの状況

(3) その他関連事項

コミュニケーションツールの利用状況、不安や悩みの相談相手の有無、不安や悩みを相談する際の感情、心身の健康状態、コロナ禍におけるコミュニケーションの変化・生活の変化

(4) 属性事項

年齢、性別、居住地域、配偶者の有無、同居人の有無・数、収入を得ている同居人の数、教育・就業状態、居住形態（住宅の種類、持ち家か否か）、世帯の年間収入

II 結果の概要

■ 孤独の把握方法・状況

孤独という主観的な感情をよりの確に把握するため、この調査では2種類の設問を採用。

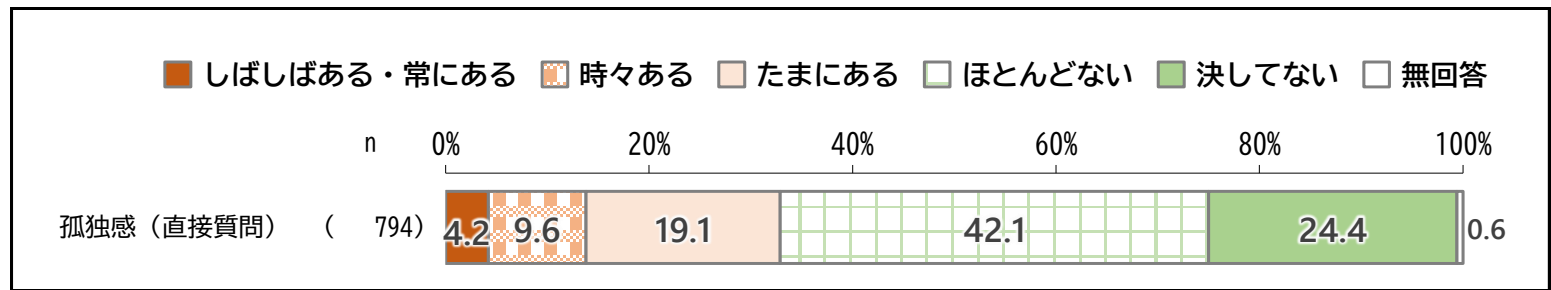
①直接質問

- 直接的に孤独感を質問。直接質問の結果、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は4.2%、「時々ある」が9.6%、「たまにある」が19.1%であった。一方で孤独感が「ほとんどない」と回答した人は42.1%、「決してない」が24.4%であった。

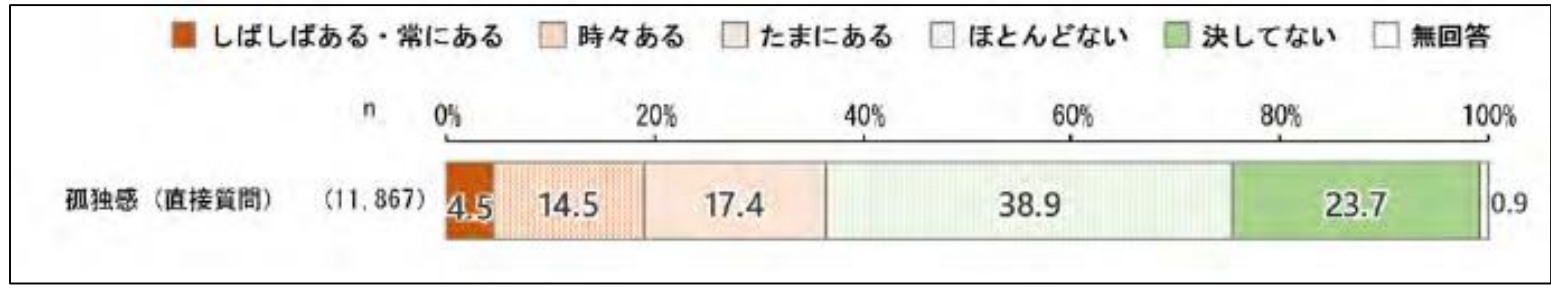
あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

1 決してない	4 時々ある
2 ほとんどない	5 しばしばある・常にある
3 たまにある	

埼玉県



国※
(令和3年調査)



※以後、国の図表は、「人々のつながりに関する基礎調査(令和3年)内閣官房孤独・孤立対策担当室」の結果であることを表す。

II 結果の概要

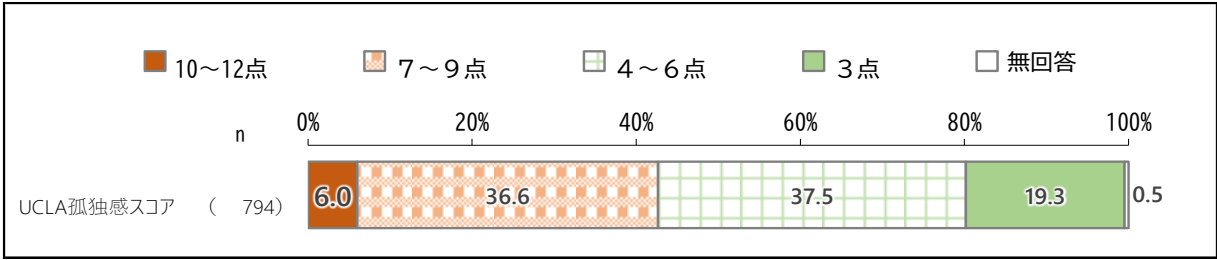
■ 孤独の把握方法・状況

② 間接質問

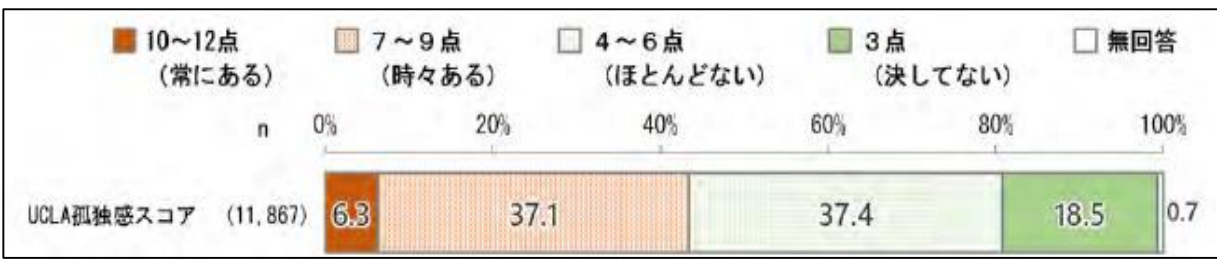
● 孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定する「UCLA孤独感尺度」に基づく質問。3つの設問への回答を点数化し、その合計スコア(本調査では最低点3点～最高点12点)が高いほど孤独感が高いと評価。間接質問の結果、**合計スコアが「10～12点」の人が6.0%、「7～9点」の人が36.6%**であった。一方で「4～6点」の人が37.5%、「3点」の人が19.3%であった。

- ①あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることはありませんか。
- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |
- ②あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。
- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |
- ③あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。
- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

埼玉県



国



(参考)UCLA孤独感尺度

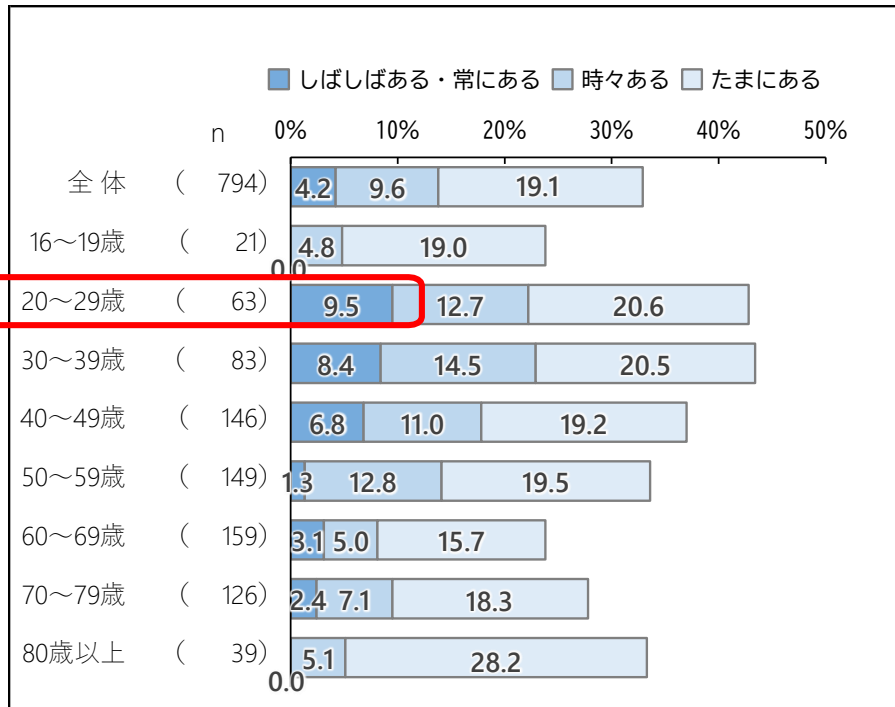
カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)の研究者が孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定しようと考案したもの。本調査では上記の3項目の設問について、それぞれ**4つの回答選択肢(4件法)を設定**。「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点とし、その合計スコアにより孤独感の高さを測定。なお、調査によって尺度がアレンジされることがあり、英国では「しばしばある」(3点)、「時々ある」(2点)、「ほとんど・決してない」(1点)の3つの回答選択肢(3件法)を設定。

II 結果の概要

■ 年齢階級別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人について年齢階級別の割合は「20歳代」が最も高く9.5%であった。一方、最も低いのは「10歳代」、「80歳以上」で0.0%であった。

埼玉県



国

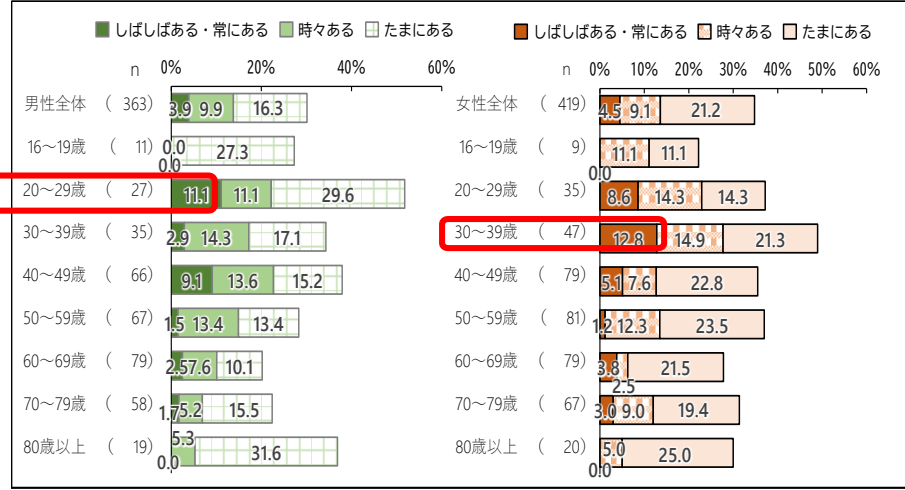


II 結果の概要

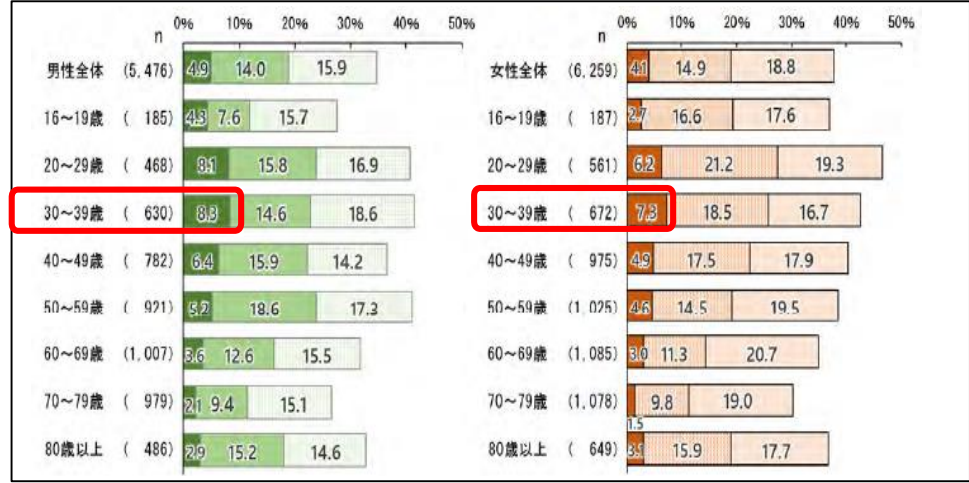
■ 男女、年齢階級別孤独感

- 男女別にみても、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は男性は「20歳代」が最も高く11.1%、女性は「30歳代」が最も高く12.8%であった。
- その割合が最も低いのは男女ともに「10歳代」、「80歳代」で、ともに0.0%であった。

埼玉県



国

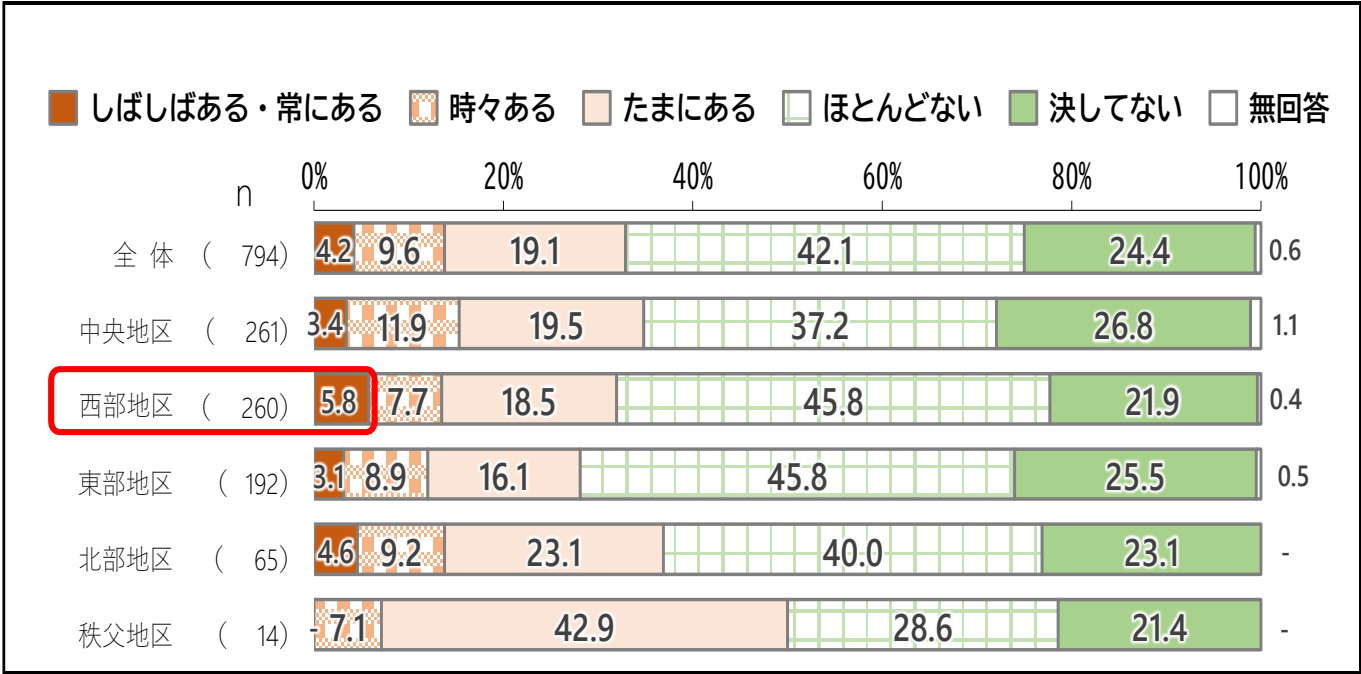


II 結果の概要

■ 居住地域別孤独感

- 居住地区別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は「西部地区」が最も高く5.8%であった。
- その割合が最も低いのは男女ともに「秩父地区」で0.0%であった。

埼玉県

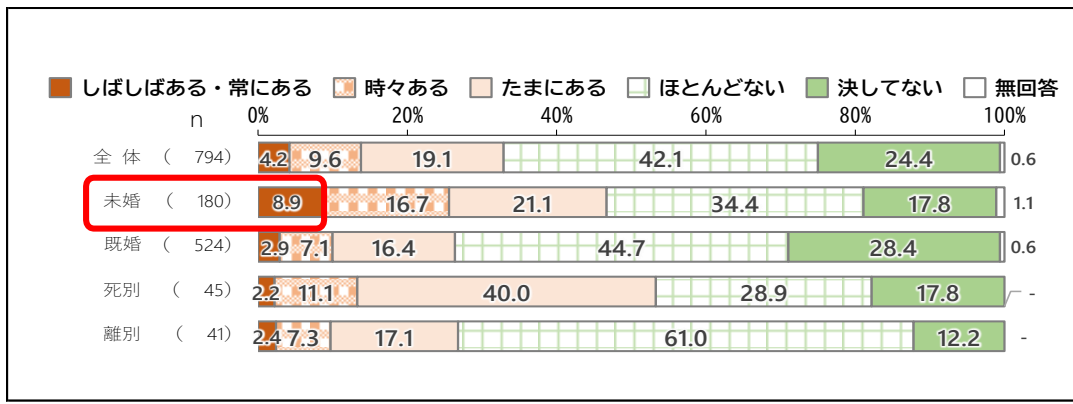


II 結果の概要

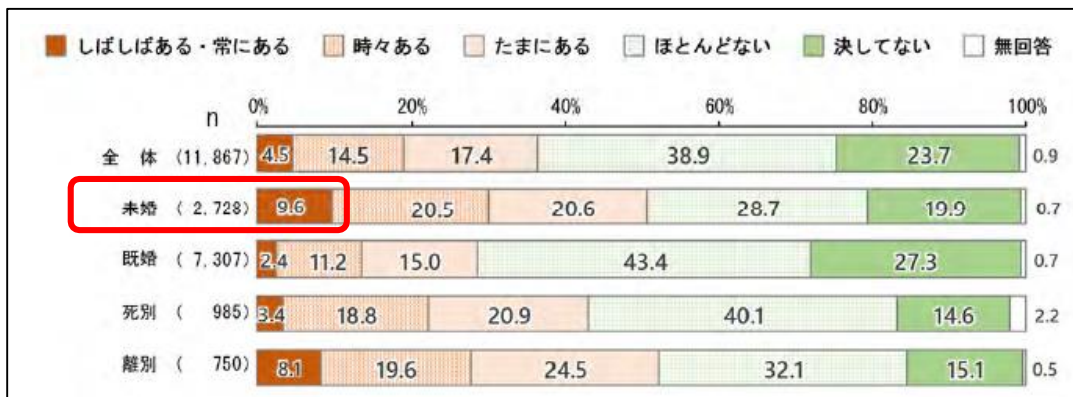
■ 配偶者の有無別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、未婚者が8.9%、既婚者が2.9%であった

埼玉県



国

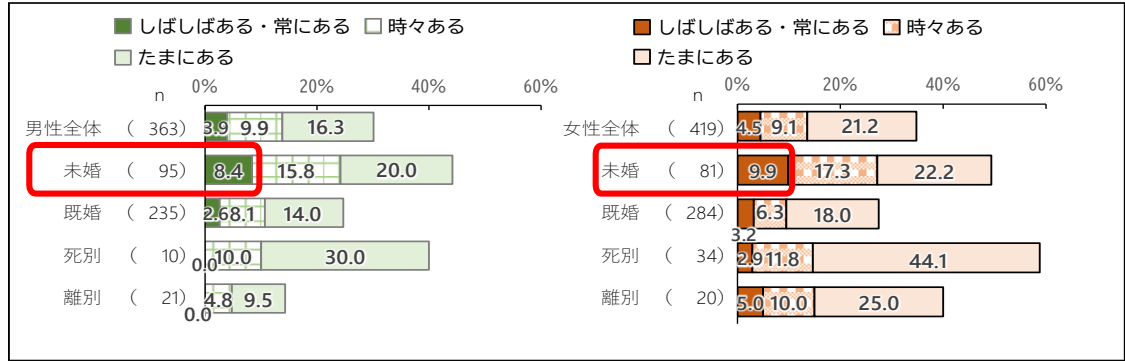


II 結果の概要

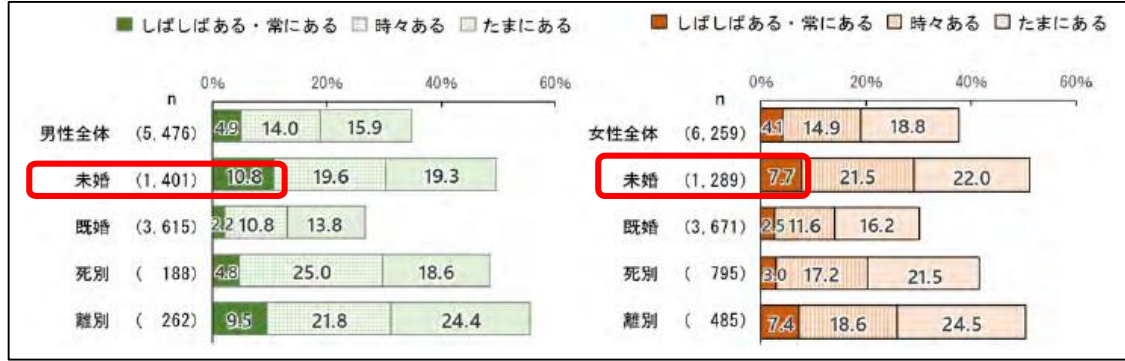
■ 男女・配偶者の有無別孤独感

- 男女別にみても、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男女ともに未婚者が最も高い(男性8.4%、女性9.9%)。

埼玉県



国

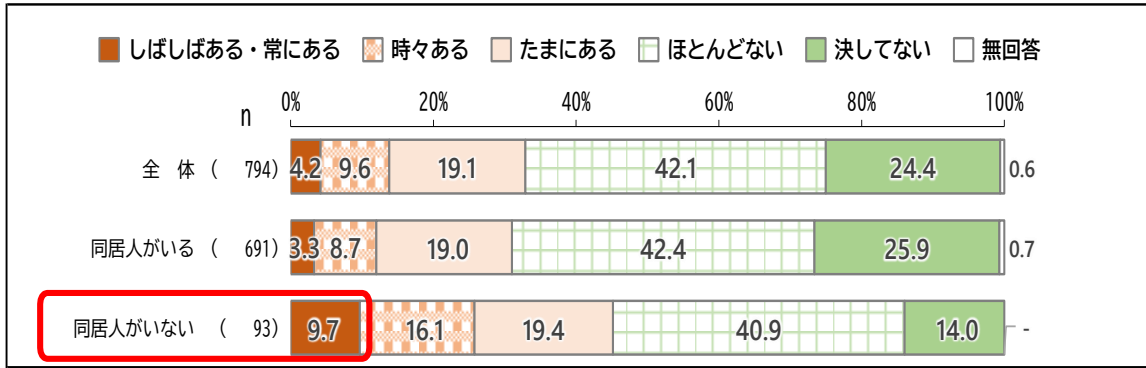


II 結果の概要

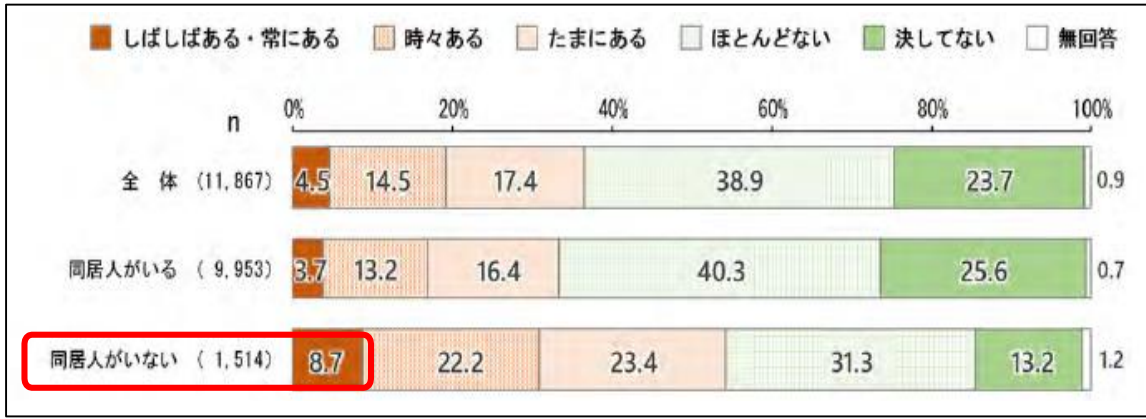
同居人の有無別孤独感

● 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、同居人がいる人が3.3%、同居人がいない人が9.7%であった。

埼玉県



国

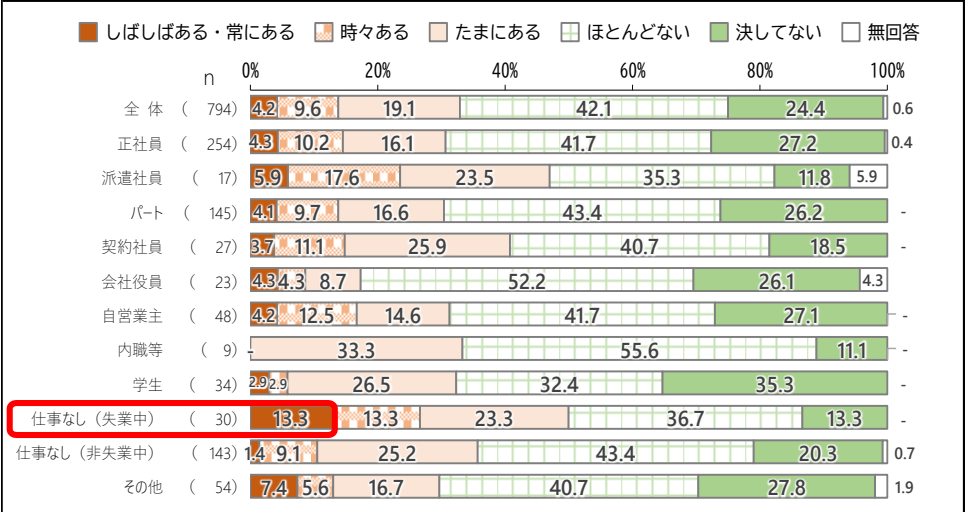


II 結果の概要

■ 現在の仕事の有無別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、**仕事なし(失業中)の人が13.3%で最も高い**。一方、その割合が最も低いのは、内職等で0.0%であった。

埼玉県



国

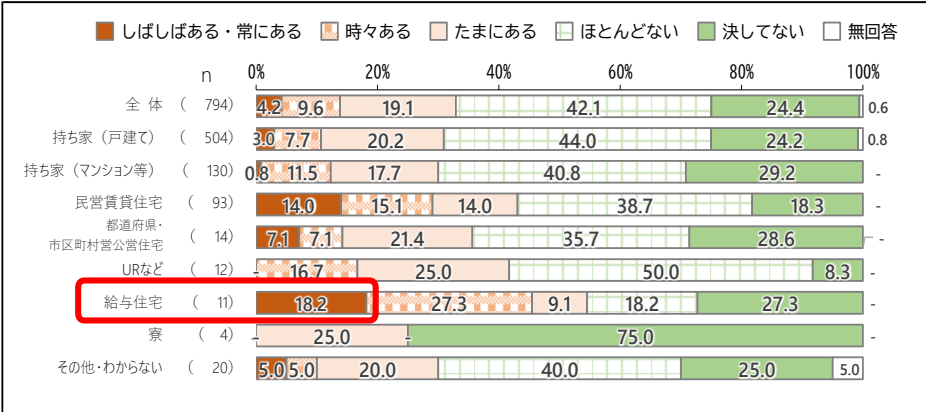


II 結果の概要

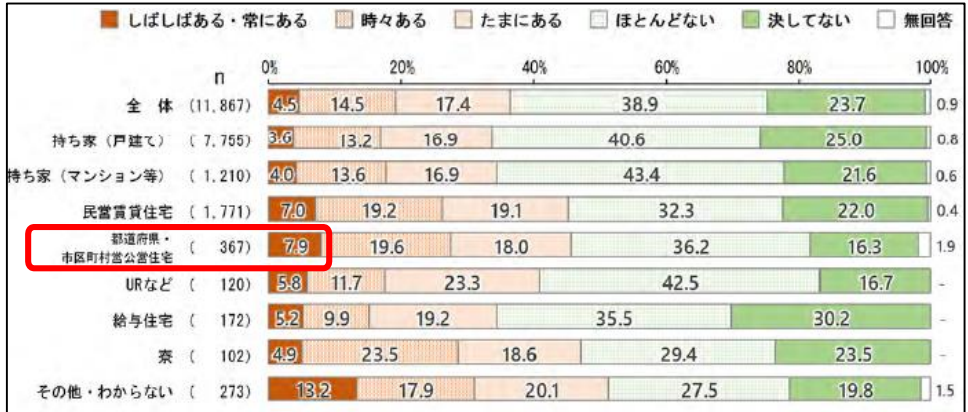
■ 現在の住まいの状況別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、**給与住宅に住んでいる人が18.2%で最も高い**(「その他・わからない」を除く)。一方、その割合が最も低いのは、「URなど」、「寮」に住んでいる人で0.0%であった。

埼玉県



国

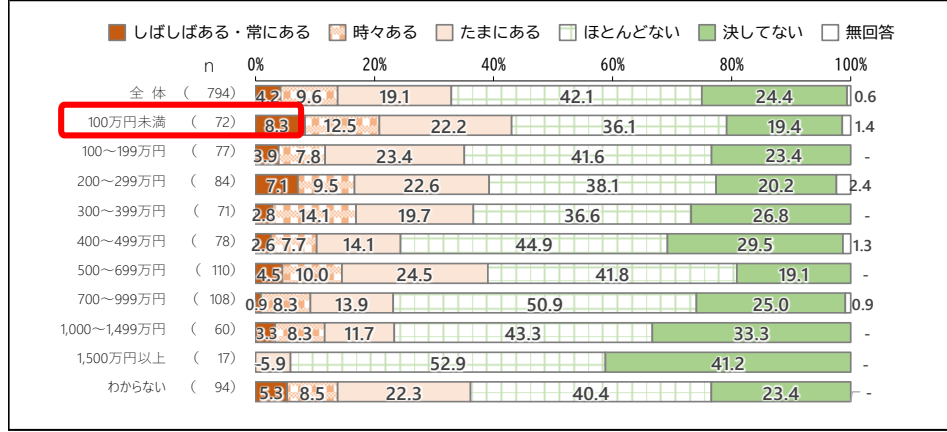


II 結果の概要

■ 世帯年収別孤独感

- 2022年の世帯年収(税・社会保険料込み)別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、**年収100万円未満の人が8.3%で最も高い**。一方、その割合が最も低いのは、年収1500万円以上の人で0.0%であった。

埼玉県



国

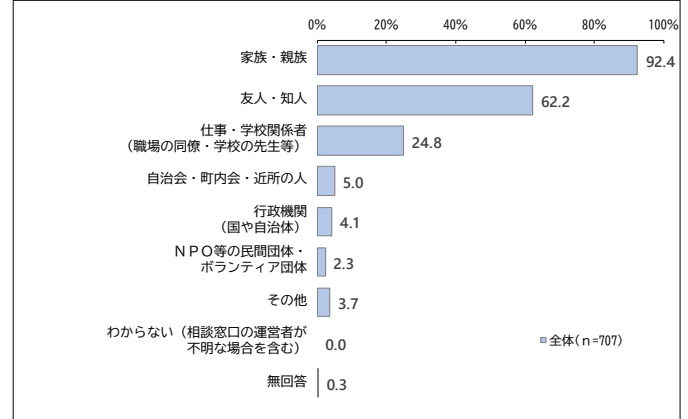
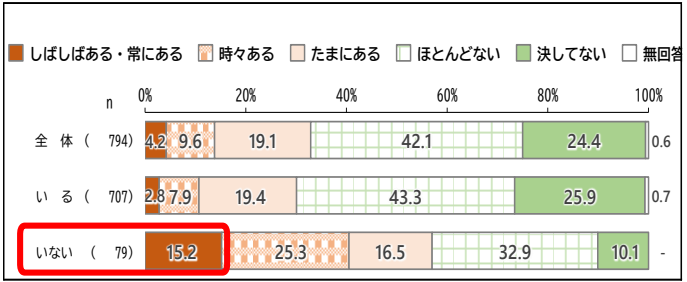


II 結果の概要

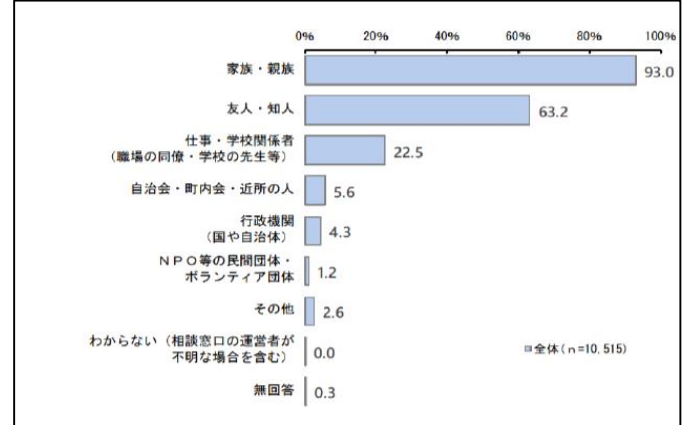
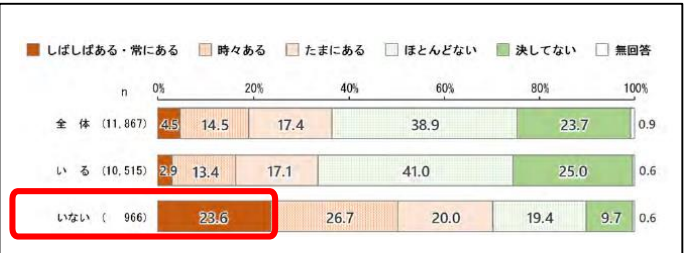
不安や悩みの相談相手の有無別孤独感

● 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、相談相手が「いる」で2.8%、相談相手が「いない」で15.2%であった。

埼玉県



国

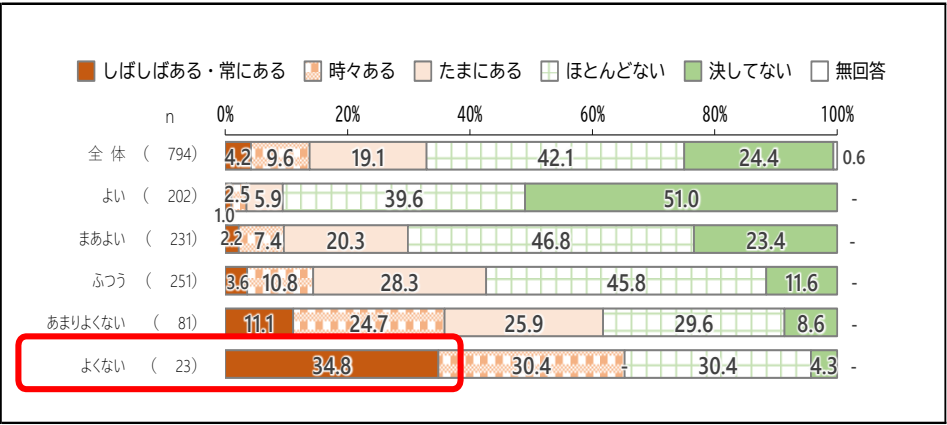


II 結果の概要

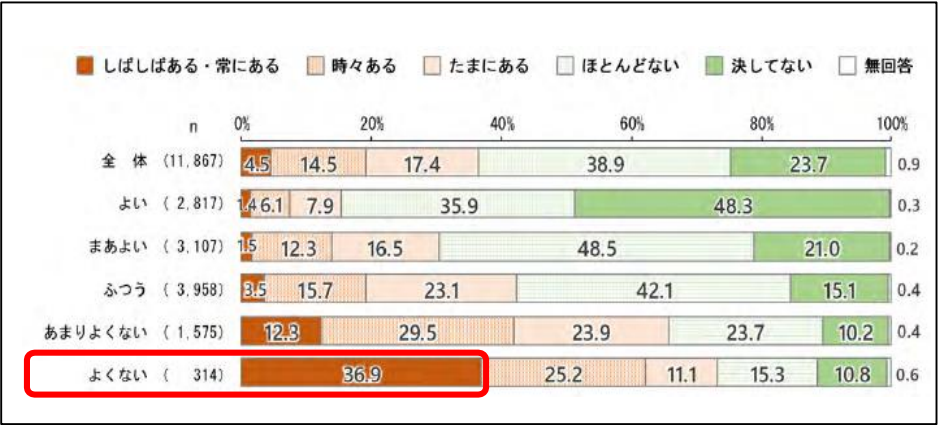
■ 心身の健康状態別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、**心身の健康状態が「よくない」という人が34.8%で最も高い**。一方、その割合が最も低いのは、「よい」という人で1.0%であった。

埼玉県



国

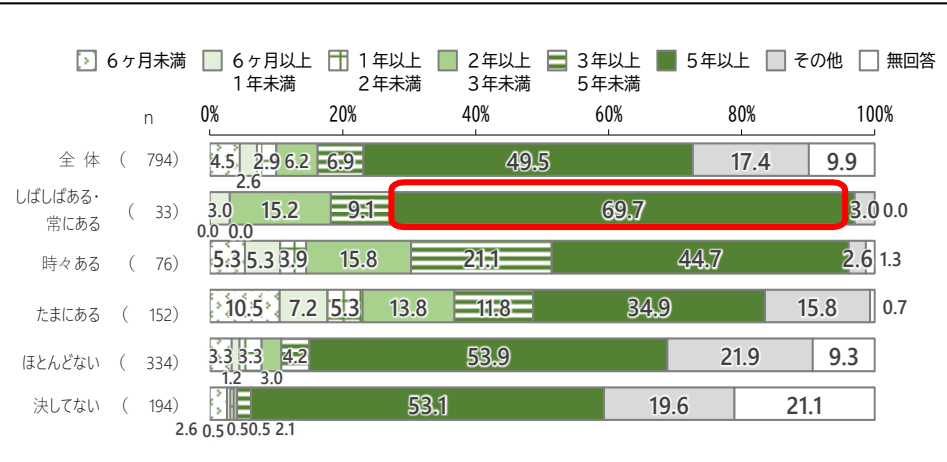


II 結果の概要

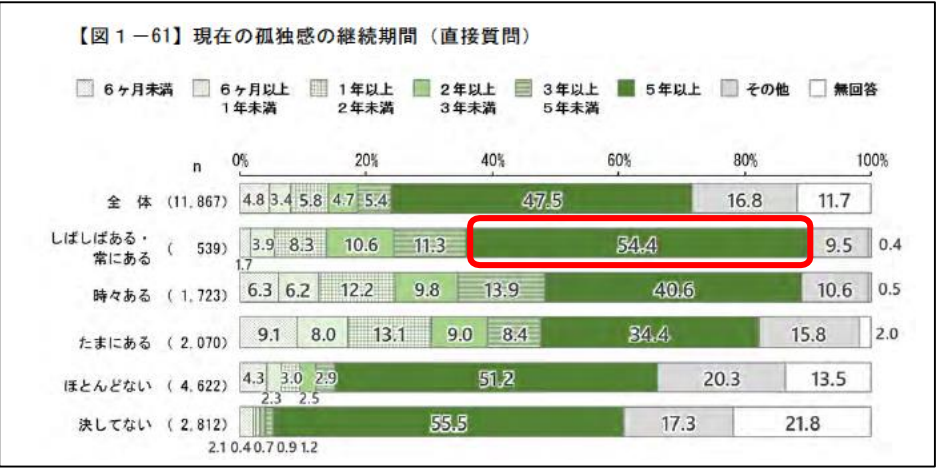
■ 現在の孤独感の継続期間

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の69.7%が、5年以上その期間が継続していると回答している。

埼玉県



国

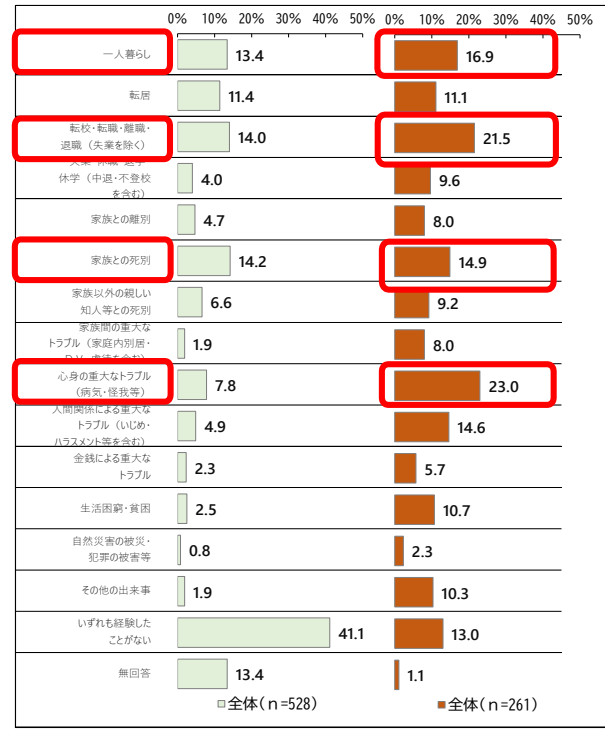


II 結果の概要

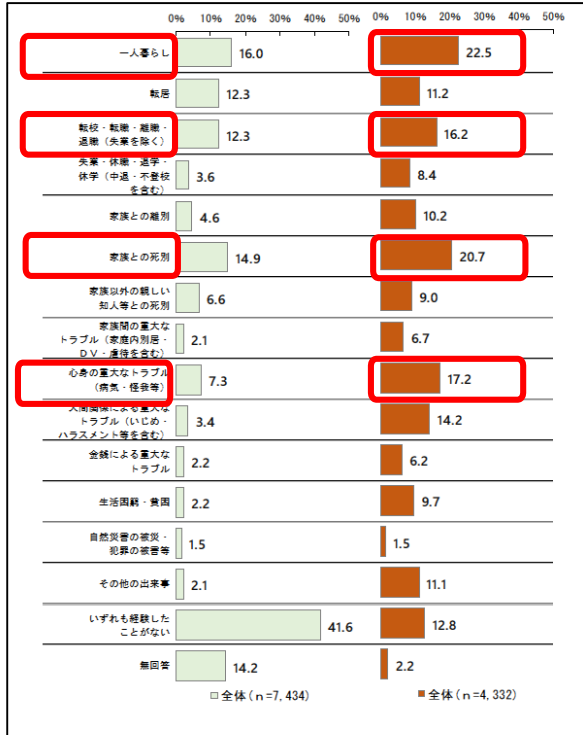
■ 現在の孤独感に至る前に経験した出来事

- 孤独感が「しばしばある・常にある」、「時々ある」、「たまにある」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事としては、「一人暮らし」、「転校・転職・離職・退職(失業を除く)」、「家族との死別」、「心身の重大なトラブル(病気・怪我等)」を選択した人の割合が高かった。

埼玉県

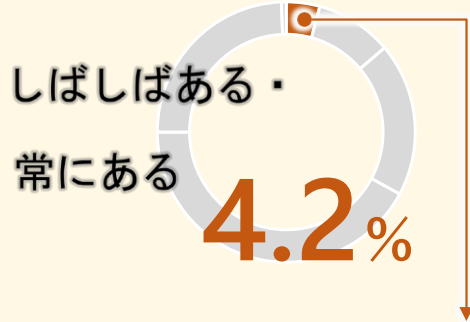


国



- 右側のグラフは孤独感が「しばしばある・常にある」、「時々ある」、「たまにある」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事を集計したもの。
- 左側のグラフは孤独感が「ほとんどない」、「決してない」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事を集計したもの。

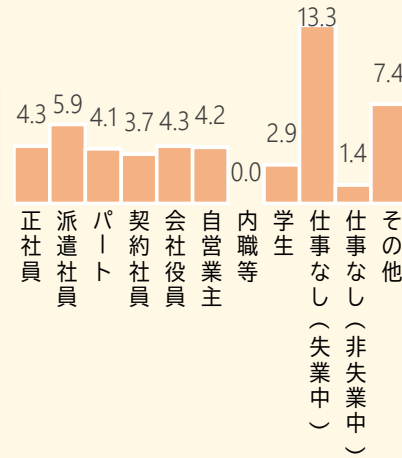
あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。



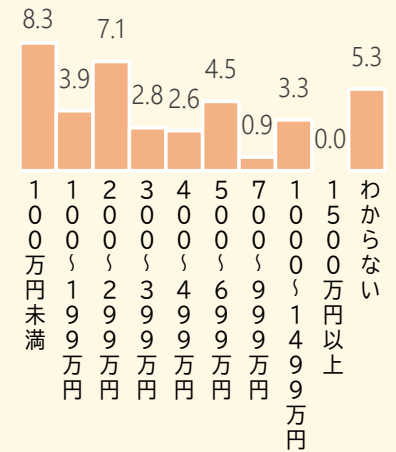
しばしばある・常にある	4.2%
時々ある	9.6%
たまにある	19.1%
ほとんどない	42.1%
決してない	24.4%
無回答	0.6%

※各グラフの単位は「%」

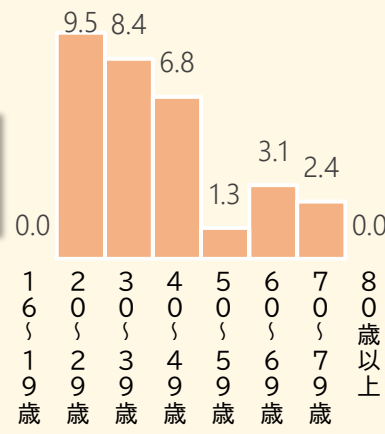
仕事



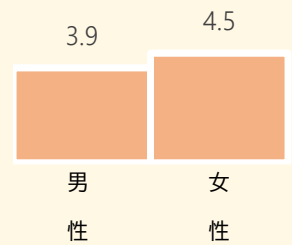
世帯年収



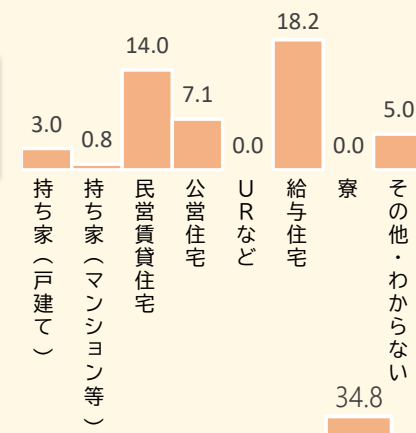
年齢



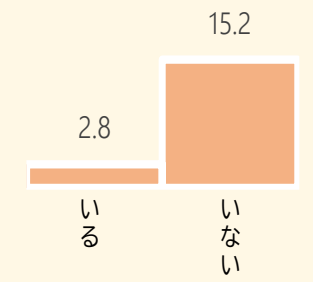
性別



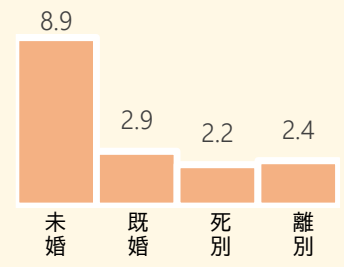
住居



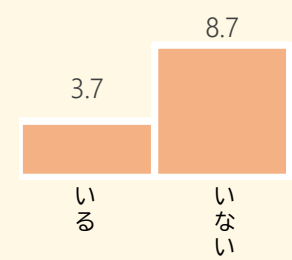
相談相手の有無



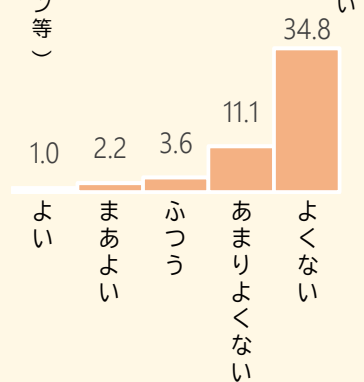
婚姻状況



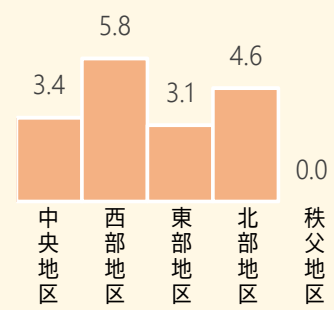
同居人



健康状態



居住地区



II 結果の概要

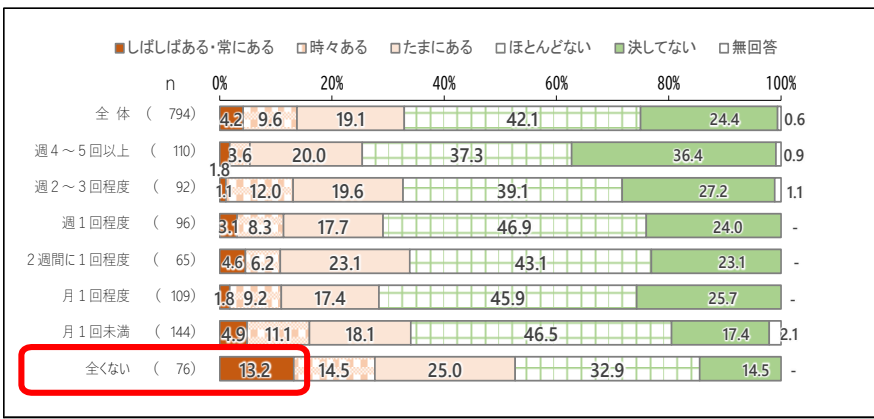
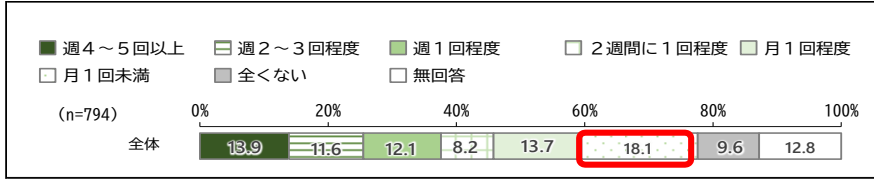
■ 孤立の把握方法・状況

- 孤立については、国内の先行研究などを参考に①社会的交流(家族・友人等との交流)、②社会参加(PTA活動、ボランティア活動、スポーツ・趣味等の人と交流する活動への参加)、③社会的サポート(行政機関やNPO等からの支援)、④社会的サポート(他者からの支援)の状況から社会的孤立の状態を把握。

①社会的交流の状況

- 同居していない家族や友人たちと直接会って話すことが全くない人の割合が9.6%、月1回未満の人の割合が18.1%。
- これらの人については、孤独感が「しばしばある・常にある」という割合が高い。

埼玉県



国

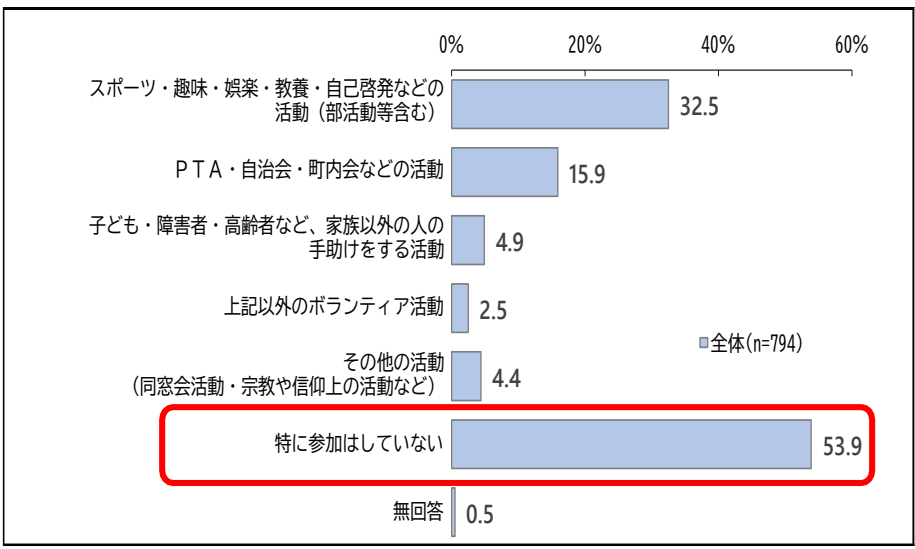


II 結果の概要

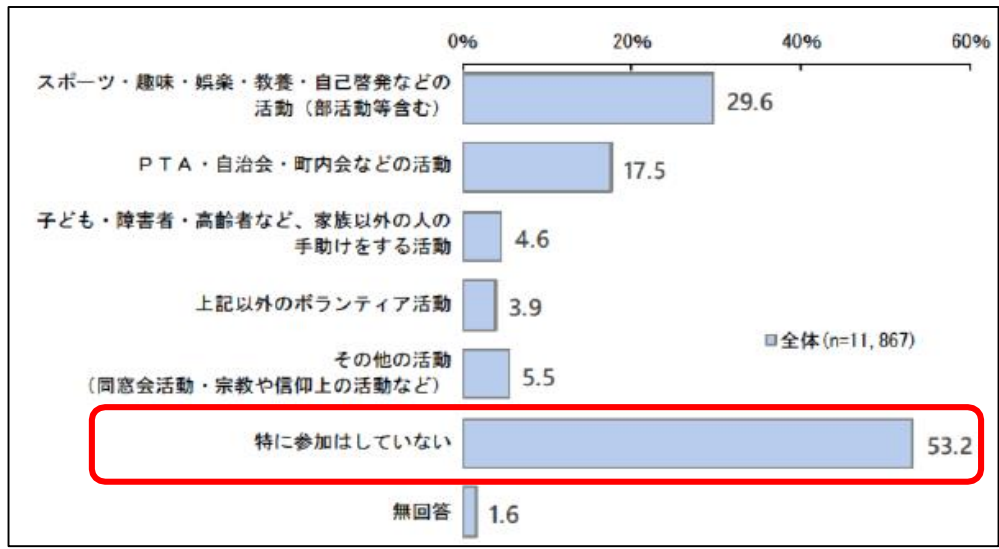
②社会参加の状況

- 現在の社会活動(人と交流する活動のみ)への参加状況では、特に参加はしていない人の割合が53.9%で最も高い。
- 参加している人については「スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動(部活動等含む)」への参加を選択する割合が最も高く、32.5%であった。

埼玉県



国

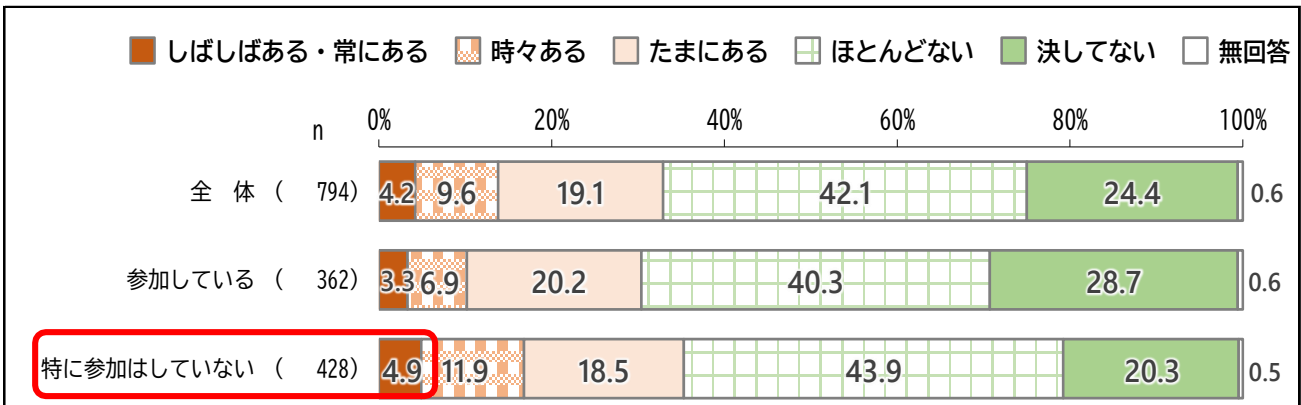


II 結果の概要

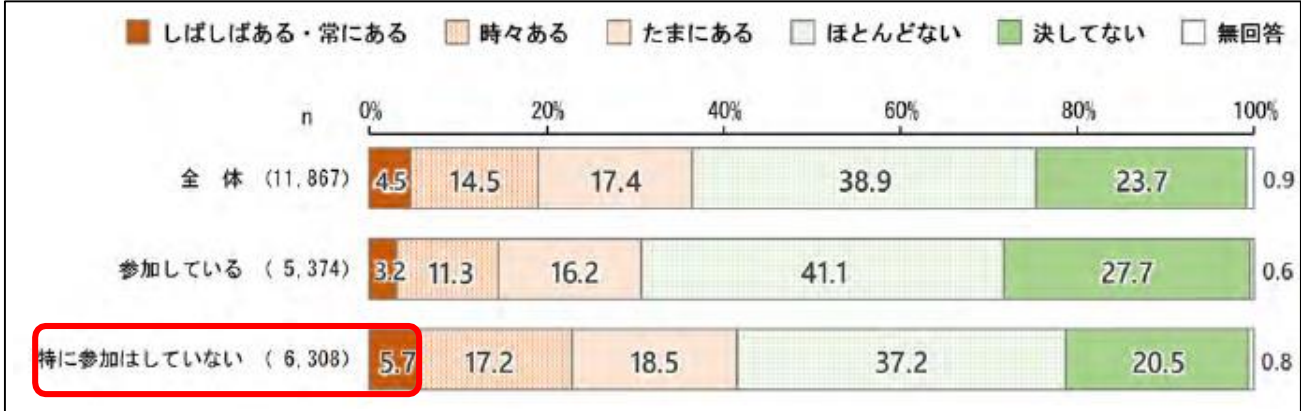
②社会参加の状況(続き)

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、社会活動に参加している人が3.3%、特に参加はしていない人が4.9%であった。

埼玉県



国

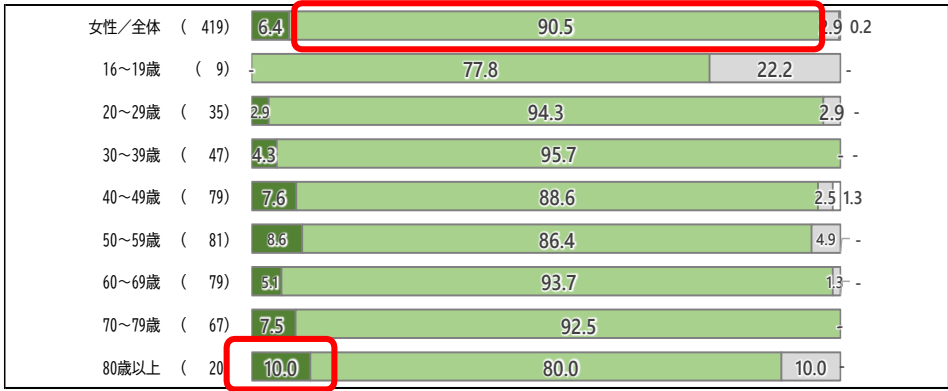
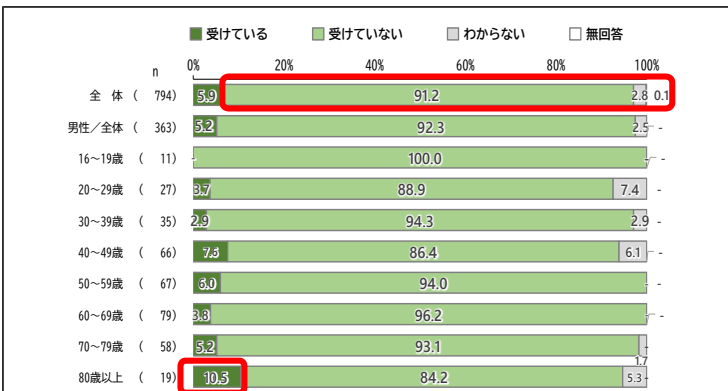


II 結果の概要

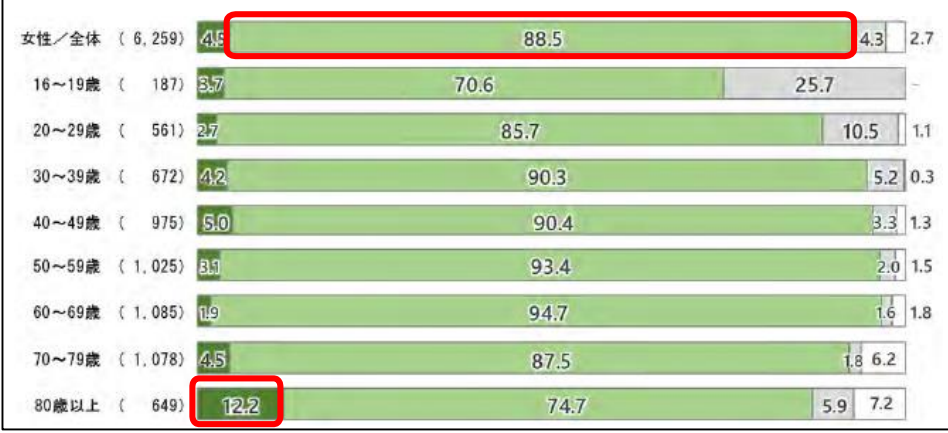
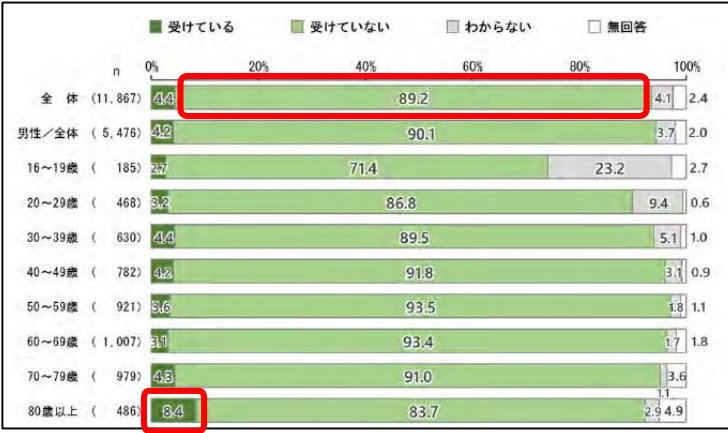
③社会的サポート(行政機関やNPO等からの支援)

- 社会的サポート(行政機関やNPO等からの支援)について、支援を受けていない人の割合が91.2%であった。
- 80歳以上で支援を受けている人の割合が高い(男性10.5%、女性10.0%)。

埼玉県



国

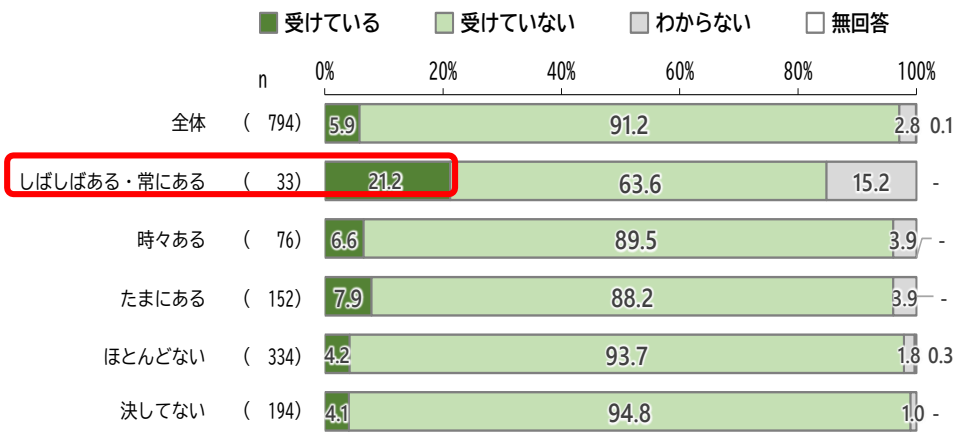


II 結果の概要

③社会的サポート(行政機関やNPO等からの支援)(続き)

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人のうち、21.2%の人が現在、行政機関やNPO等から困りごとに対する支援(対価を直接支払うものを除く。)を受けている。

埼玉県



国



II 結果の概要

④社会的サポート(支援を受けている団体)

- 現在、行政機関やNPO等の民間団体から困りごとに対する支援(対価を直接支払うものを除く。)を受けている人のうち、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の現在受けている支援主体は、「行政機関(国や自治体)」が42.9%で最も高い。

埼玉県

	n	行政機関 (国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等の民間団体・ボランティア	自治会・町内会	その他	無回答
全体	47	59.6	23.4	14.9	2.1	10.6	8.5
しばしばある・常にある	7	42.9	28.6	14.3	-	28.6	-
時々ある	5	80.0	40.0	-	20.0	-	20.0
たまにある	12	50.0	25.0	25.0	-	8.3	16.7
ほとんどない	14	71.4	21.4	-	-	14.3	7.1
決してない	8	50.0	12.5	37.5	-	-	-

国

	n	行政機関 (国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等の民間団体・ボランティア	自治会・町内会	その他	無回答
全体	519	60.5	28.1	8.3	5.0	7.3	9.6
しばしばある・常にある	44	68.2	22.7	13.6	-	6.8	9.1
時々ある	93	51.6	29.0	8.6	6.5	10.8	15.1
たまにある	106	62.3	31.1	4.7	4.7	6.6	6.6
ほとんどない	172	61.6	30.2	7.0	5.2	7.6	8.7
決してない	96	61.5	24.0	11.5	5.2	4.2	9.4

II 結果の概要

⑤社会的サポート(支援内容)

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の現在受けている支援の内容は、「相談支援(助言や情報提供等)」が57.1%で最も高い。

埼玉県

	n	経済的な支援 (給付や貸付等)	現物提供等の支援 (食料品・日用品の提供)	人的な支援 (世話や介護)	相談支援 (助言や情報提供等)	その他	無回答
全体	47	46.8	6.4	25.5	29.8	8.5	12.8
しばしばある・常にある	7	42.9	-	14.3	57.1	-	-
時々ある	5	80.0	20.0	-	-	-	20.0
たまにある	12	16.7	8.3	33.3	33.3	8.3	25.0
ほとんどない	14	78.6	-	28.6	21.4	7.1	7.1
決していない	8	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	-

国

	n	経済的な支援 (給付や貸付等)	現物提供等の支援 (食料品・日用品の提供)	人的な支援 (世話や介護)	相談支援 (助言や情報提供等)	その他	無回答
全体	519	45.3	2.9	33.1	30.4	8.1	6.2
しばしばある・常にある	44	56.8	2.3	22.7	36.4	11.4	-
時々ある	93	45.2	6.5	37.6	41.9	6.5	7.5
たまにある	106	51.9	-	26.4	29.2	9.4	3.8
ほとんどない	172	40.1	2.9	37.8	26.2	7.0	7.6
決していない	96	42.7	3.1	32.3	24.0	9.4	8.3

II 結果の概要

⑥不安や悩みを相談すること

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の不安や悩みを相談する際の感情は、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」が48.5%で最も高い。

埼玉県

国

(%)

	n	相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる	相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる	相手に連絡を取りやすくなる	相談することが恥ずかしい	相談すると相手の負担になる	(相談しても無駄である)	その他	無回答
全体	794	63.6	70.5	7.6	5.9	9.7	8.9	2.8	1.3
しばしばある・常にある	33	42.4	48.5	27.3	21.2	21.2	39.4	3.0	-
時々ある	76	40.8	60.5	18.4	13.2	28.9	17.1	3.9	1.3
たまにある	152	61.8	76.3	9.2	5.9	12.5	9.9	1.3	1.3
ほとんどない	334	64.7	71.0	5.7	5.7	6.9	7.5	3.0	0.9
決してない	194	75.8	73.2	2.1	1.0	3.1	2.6	3.1	1.5

(%)

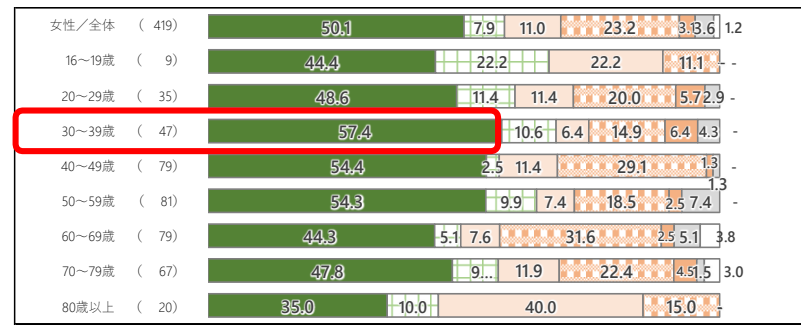
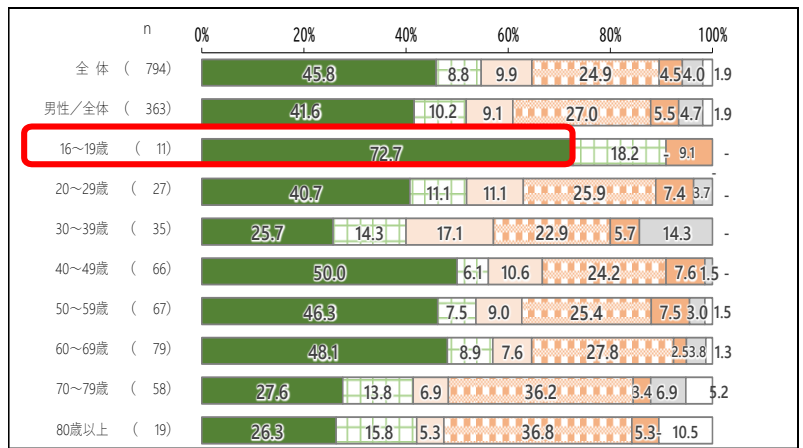
	n	相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる	相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる	相手に連絡を取りやすくなる	相談することが恥ずかしい	相談すると相手の負担になる	(相談しても無駄である)	その他	無回答
全体	11,867	64.0	71.6	6.9	4.8	8.2	10.1	3.1	1.4
しばしばある・常にある	539	31.4	49.0	20.0	14.3	26.0	41.6	8.9	1.3
時々ある	1,723	50.1	68.3	11.1	9.5	15.2	17.2	4.2	1.2
たまにある	2,070	57.0	74.3	11.4	6.6	11.3	12.1	2.9	1.6
ほとんどない	4,622	68.3	74.5	4.2	3.0	5.2	6.1	2.4	1.2
決してない	2,812	77.6	72.3	3.3	1.8	3.2	4.6	2.5	0.9

II 結果の概要

⑦社会的サポート(他者への手助け)

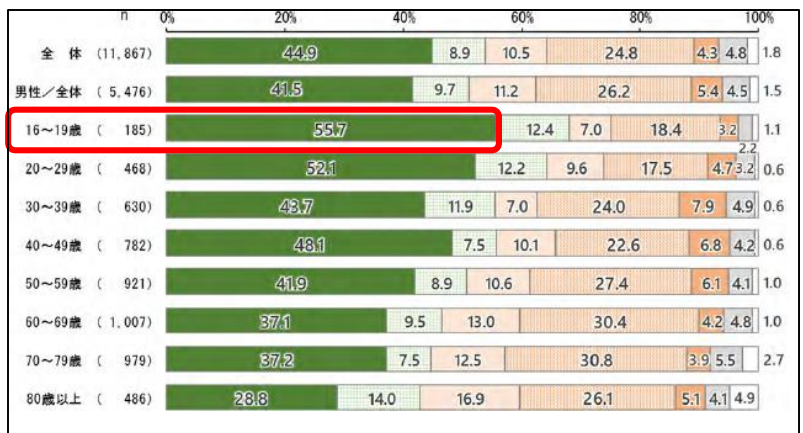
- 手助けをしている人は、全体では45.8%で、**男性は16～19歳でその割合が最も高く72.7%、女性は30歳代が最も高く57.4%**であった。

埼玉県



- している
- 現時点ではたまたましていないが、最近まではしていた
- していない(自分にはできない)
- していない(手助けを求める人がいない)
- していない(したいと思わない・手助けを必要とする人がいるか分からない)
- その他
- 無回答

国

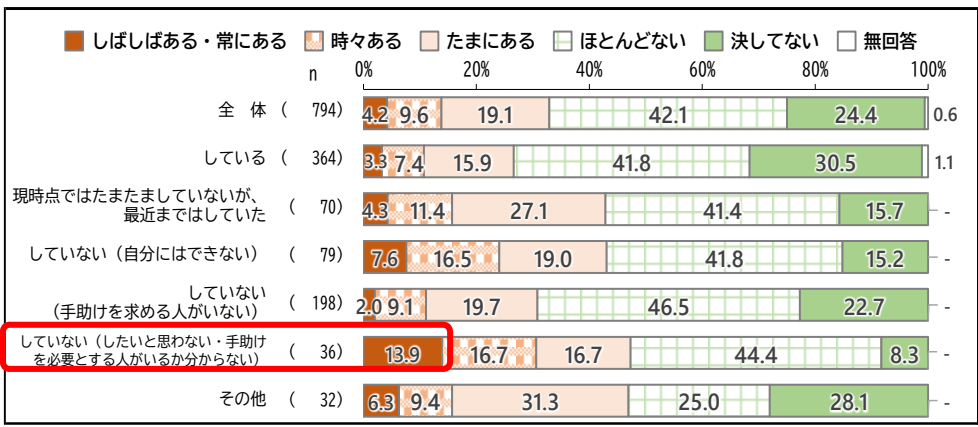


II 結果の概要

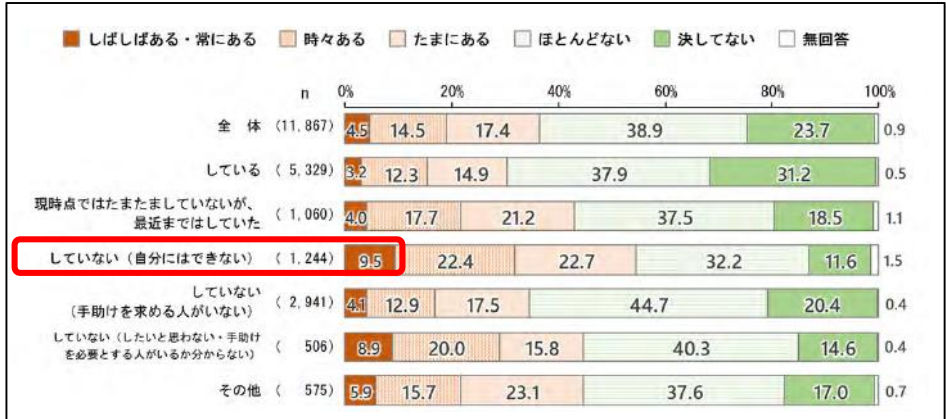
⑦社会的サポート(他者への手助け)(続き)

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、手助けをしていない(したいと思わない・手助けを必要とする人がいるか分からない)という人が13.9%で最も高い。一方、その割合が最も低いのは、手助けをしていない(手助けを求める人がいない)人で2.0%であった。

埼玉県



国



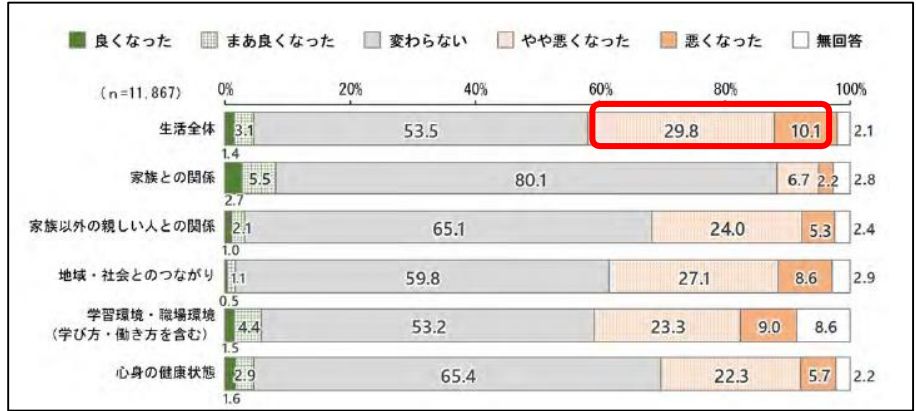
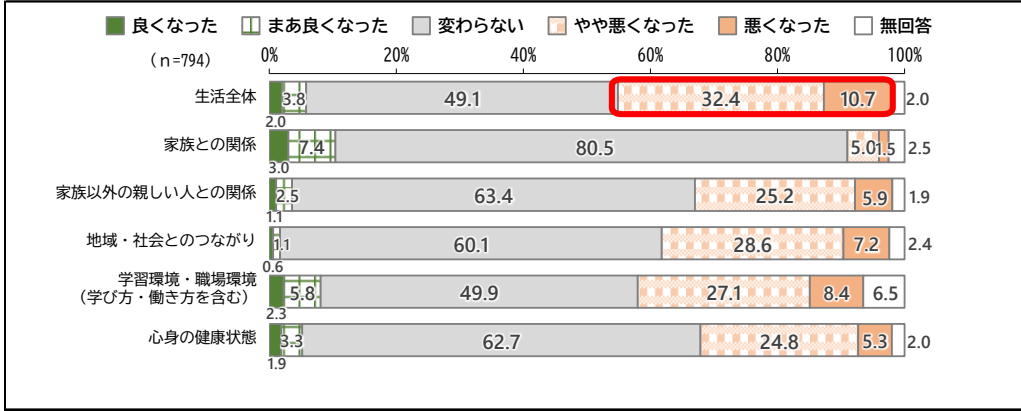
II 結果の概要

■ コロナ禍における日常生活の変化

- 本調査では、新型コロナウイルス感染拡大により、人とのコミュニケーションにどのような変化があったか、また、日常生活にどのような変化があったかを把握。
- 日常生活の変化について、生活全体では49.1%の人が変わらないと回答。
- 生活全体が「悪くなった」との回答が10.7%、「やや悪くなった」が32.4%であった。

埼玉県

国



II 結果の概要

■ 寂しい際の地域の交流場所の利用意向

- 交流場所の利用意向について、全体で「ぜひ利用したいと思う」、「まあ利用したいと思う」を合わせた「**利用したい**」人は**38.6%**であった。

埼玉県

